

小金井市都市計画マスタープラン

令和3年度市民協議会

【野川地域】の結果・まとめ



グループワーク1



グループワーク2



グループワーク3

<次第>

1	開催概要	1
2	意見交換結果		
	グループワーク1	テーマ ① ② 4
	グループワーク2	テーマ ③ ④ 6
	グループワーク3	テーマ ⑤ ⑥ 8

日時 令和3年6月27日（日）午前10時から

場所 小金井市役所本庁舎3階 第一会議室

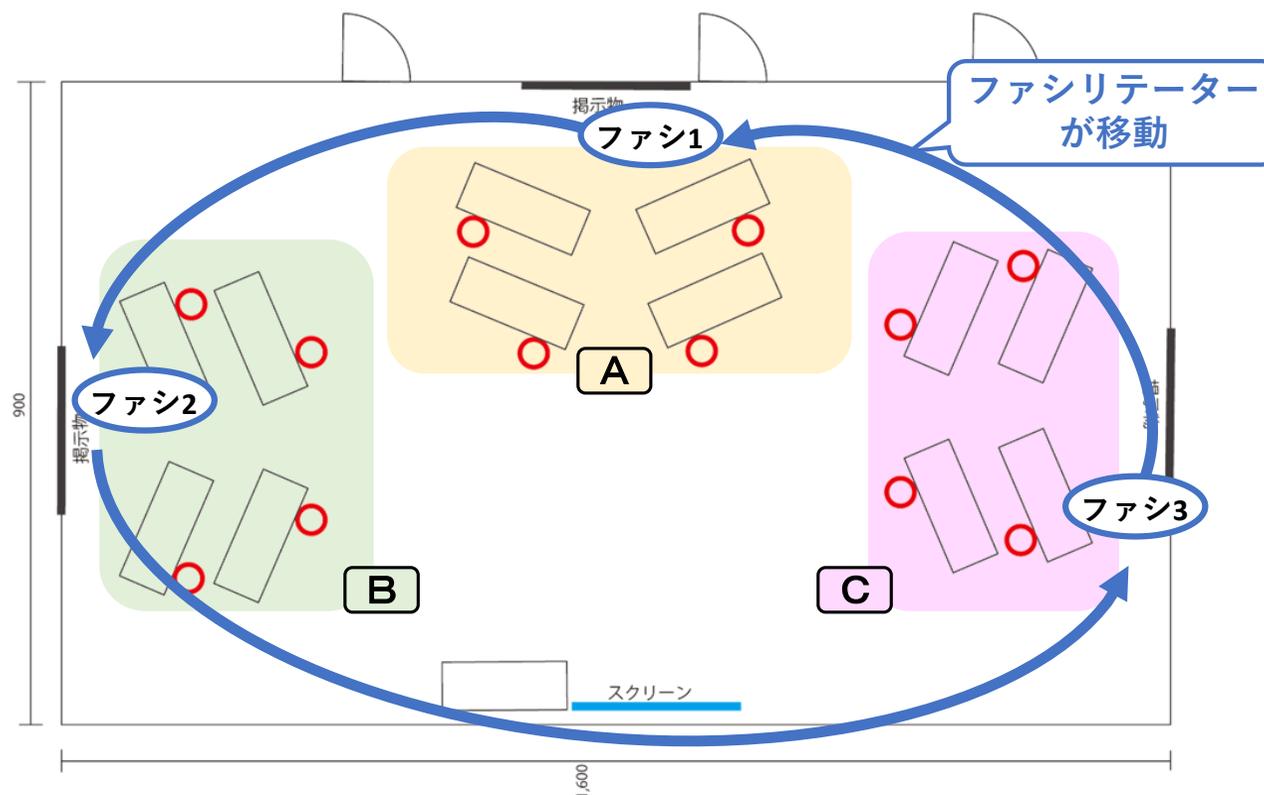
- ・ 6つのテーマについて、3グループに分かれグループワークを行いました。

＜主なテーマ＞

- グループワーク1
- 1 地域の防災・防犯の取組**
例) 防災訓練、子どもの見守り活動、顔の見える地域づくり、避難路の確保が必要、みどりを活かした防災まちづくり など
 - 2 学校（小学校や大学等）と市民との連携等**
例) 学校を勉強等の場として活用、商店会と学校の連携・イベント開催 など
- グループワーク2
- 3 地域コミュニティ活性化に向けた取組**
例) 日常的に集まる場所・施設、世代間交流の場づくり、空き家の有効活用 など
 - 4 これからのライフスタイルに関わる取組**
例) リモートワーク、地域密着型の就業場所の確保、健康への取組 など
- グループワーク3
- 5 歴史、文化、自然の活用方法**
例) 神社等での伝統行事、歴史・文化等の回遊手段、みどりをやすらぎ・交流の場等として活用、保存樹林・屋敷林の保全 など
 - 6 経済の活性化に向けた取組**
例) 地域に根ざした商店等のPR、小金井野菜の庭先販売、歩いて暮らせるまちづくり など

<進め方>

- 参加者はA～Cの3グループに分かれ、3人のファシリテーター（進行役）が2テーマずつ受け持ち移動することで、6つのテーマについて意見交換を行いました。



※p4以降の意見交換結果では、各グループからの意見を色分けしています。
Aグループ（意見内容） Bグループ（意見内容） Cグループ（意見内容）

1 地域の防犯・防災の取組

2 学校（小学校や大学等）と市民との連携等

避難所の老朽化

防災施設の整備が必要
(老朽化対策など)

避難所(学校等)のトイレを和式から洋式にしてほしい

情報発信

町会の情報は地域の回覧板がメイン

そもそもどこに逃げたら安全かを行政は示してほしい!!

町会単位での情報発信の在り方を考えるべき

- ・町会の状況、情報が行き渡っていない
- ・都市計画道路のことも皆くわしく知らない

隣接市を含めた

- ・避難所に関する隣接市との情報共有
- ・市外の避難所として東京経済大学が指定されている

防災に強いまちづくり

貫井南二丁目 消火栓接続ホースの訓練、夜回り(火の用心)

通学路が自然豊かなので子ども1人では心配なのでシルバーの方が見ている

前原町二丁目の災害時活動のための都市計画道路の検討もしくは代替案の作成

都市計画道路(東西・南北)が整備されれば、防災上の課題がクリアされる

防災に強いまちづくりとして、道路の整備だけが方法ではなく、例えば消防団をもっとつくる小型の消火設備(ポンプ車等)を配備するなど代替案が考えられる

【東小金井地域】西武多摩川線の側道の使い方(消防、ごみ、生活)の調整が必要

行政のサポートが必要

密を下げるなら、学校の体育館を使い続けるべき(他の所が密になる)

行政は市民がもっと活動しやすい環境づくりを!!

多世代交流が重要

子どもと高齢者のみをつなげるのではなく、ミドル世代も含めて!!

町会の活性化

- ・防災倉庫設置
- ・防災訓練
- ・町会の活性化

防災の道具が町内にない

(地域)町会として子どもを育てる仕組みづくりを
⇒ならば町会に入る気持ちが起こるかも

西武線の陸橋(避難路)
→災害時に崩落の危険性あり
防災計画の見直しを

まずは町会自体の活性化が必要!!
新しい知恵が必要

銭湯コミュニティ

小金井には銭湯(貫井湯)が1件しかない
→イベント・交流の場に活用

小学校単位で
放課後見守り
ボランティア (PTA中心)

避難先の小学校の老朽化により、避難心配
トイレの問題も!! (洋式がない)

野川地域
→若い人、子ども少ない...
(JRの北側に移る)

地域で避難訓練の実態不明

小金井は
市民活動は活発です!!

川から離れたところに避難
するというイメージがある

東西方向の避難経路がない

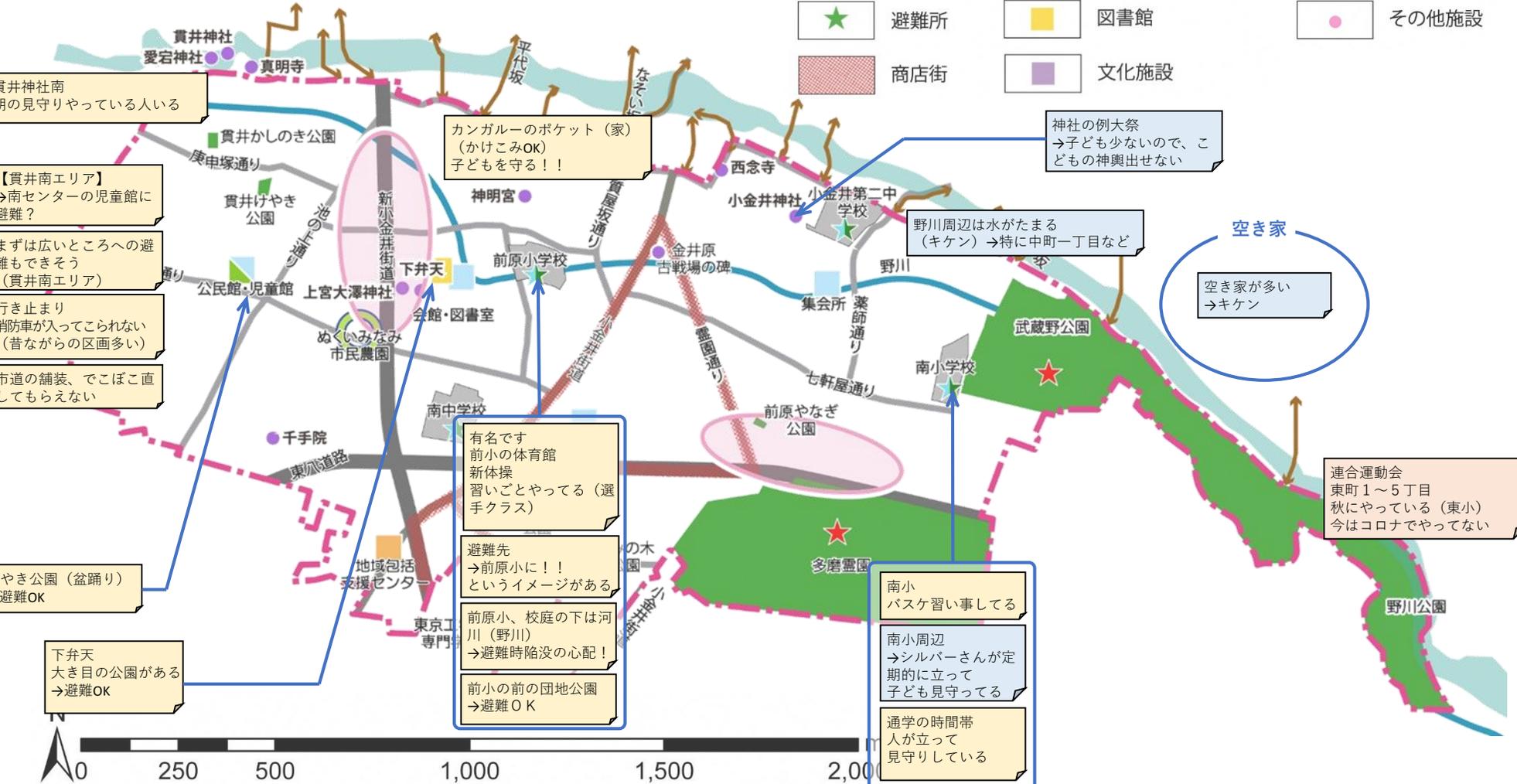
昔からの人と
新しく見た人との交流が
ない

町会で年会の防災訓練は計画しているが...
(消火栓・AED)
地域として何人程度参加しているか分からない

野川地域全体は昔多摩川
だった
→軟弱地盤

凡例

-  地域拠点
-  コミュニティ施設
(公民館・集会所)
-  スポーツ施設
-  広域避難所
-  高齢者福祉・介護施設
-  市民農園
-  一時避難所
-  障がい福祉施設
-  寺・神社
-  避難所
-  図書館
-  その他施設
-  商店街
-  文化施設



貫井神社南
朝の見守りやっている人いる

【貫井南エリア】
→南センターの児童館に
避難?

まずは広いところへの避
難もできそう
(貫井南エリア)

行き止まり
消防車が入ってこれない
(昔ながらの区画多い)

市道の舗装、でこぼこ直
してもらえない

けやき公園 (盆踊り)
→避難OK

下井天
大き目の公園がある
→避難OK

カンガルーのポケット (家)
(かけこみOK)
子どもを守る!!

有名です
前小の体育館
新体操
習いごとやっている (選
手クラス)

避難先
→前原小に!!
というイメージがある

前原小、校庭の下は河
川 (野川)
→避難時陥没の心配!

前小の前の団地公園
→避難OK

南小
バスケ習い事してる

南小周辺
→シルバーさんが定
期的に立って
子ども見守ってる

通学の時間帯
人が立って
見守りしている

神社の例大祭
→子どもが少ないので、こ
どもの神輿出せない

野川周辺は水がたまる
(キケン) →特に中町一丁目など

空き家
空き家が多い
→キケン

連合運動会
東町1~5丁目
秋にやっている (東小)
今はコロナでやってない



3 地域コミュニティ活性化に向けた取組

4 これからのライフスタイルに関わる取組

現状は、（自治会）そこまで活発に活動できていない！？

地域コミュニティ活性化

自然発生での活性化は難しい

コロナで集まりにくい
→地域活動が難しい

地域コミュニティとして、おやじの会や子ども会がある
坂下はあまり活動できてない

でもつながりは大事。
どうやってつながる？
ニーズ有

多世代交流

70代もエネルギーある
若い世代もつながれるといい
高齢化・・・単身世帯も多い
どうやってつながるか・・・

SNSを活用したゆるめのつながり

高齢化が進み単身世帯が多い中で、どのように地域コミュニティをつなげていくかが問題...
つながり...負担になる！？
地域のつながりはやっぱり大事 →どうする？
何か困った時に相談・雑談 →どうする？
顔の見えないコミュニティが欲しい
でも市内に住んでるなどの共通点

困ったときは助け合う

地域活動・・・日頃はそんなに活発じゃないけど、雪かきは助け合えた
清掃活動や雪かきはみんなでやって安心した
町会の活性化
⇒困難さをかかえる、雪かきの活動

日常でできること

顔見知りであれば災害時とかいざという時に助け合える
声をかけあう文化

道路...不安！！自然がこわれる
コミュニティが分断する

楽しいイベントに←行政のフォロー
イベントにはみんな足を運ぶ
原っぱまつり →みんな足を運ぶ イベントで交流すべき
世代間の交流
・原っぱまつり
・公園での交流
地域交流できるイベントを行政がフォロー

道路ができると自然がなくなってしまふ・・・
都市計画道路の整備はコミュニティ活性化と相反するのではないかと
道路はコミュニティを分断する
すぐに顔が見える
市は本当に地域のことを考えているのか？

今ある活動のPR！

サークル活動のPR（今は冊子）
入りづらい...
現状が見えるようにもっと工夫すべき

便利さと自然共生

いかに自然を守っていくか
都心に近いが緑豊かで良い
実際はブツブツでつながっていない（野川・ハケ）
便利さと自然の共生

環境配慮

環境問題
ハケをクリアできると車に乗らなくていい（エレベーター、エスカレーター）
市内全域を自転車で移動できると良い

野川の自然を中心としたコミュニティ形成
《自然を介したつながり》

今あるものを大切に
みどり自然は大事
小金井の良さ

野川を軸にしたコミュニティ
野川の自然や昆虫は、心を豊かにしてくれる
今ある自然を生かす
野川の自然環境を研究している会（ホテルの会等）と年間行事や会報など（雑誌をつくる）
外の人たちと自然とつながっている
自然について教えてくれるメダカ、田植えなど小学生に教えてる
自然のもの、状況教えてくれてありがたい
緑を一度失うと戻らない

集まれる場所（施設整備）

スポーツできる空間を増やし、市民の交流を増やす
集まれる・活動できる空間がもっとあってほしい
街灯の整備
夜に公園でジョギングしたら真っ暗だったので
公園内にリモートワークオフィス設置 →ノートパソコンを使っている人をよく見かける
第2調整池の運動場の予約がなかなか取れない
子ども達のためにも必要
体育館があると良い →地元の友達ができる
サークル
つくりやすい
集まって楽しいと思える場所にすべき
勉強できる図書館がない

アイデア

市内の活動につながる副業の創出、案内
公園の案内
みどりの案内

府中市との連携

渋滞で交通事故が心配
府中市とうまく調整・連携してほしい
府中市と調整会議を行い、ごみ問題、公園、道路についてもっと

PR！！

はげの森美術館、ムジナ坂、武蔵野夫人、著名な文化をアピールして地域活性化につなげる

個性

小金井はみどりがないと生きていけない。人とのつながり。
“今”あるものを大切に！！

凡例

- | | | | | | |
|--|-------|--|-----------------------|--|--------|
| | 地域拠点 | | コミュニティ施設
(公民館・集会所) | | スポーツ施設 |
| | 広域避難所 | | 高齢者福祉・介護施設 | | 市民農園 |
| | 一時避難所 | | 障がい福祉施設 | | 寺・神社 |
| | 避難所 | | 図書館 | | その他施設 |
| | 商店街 | | 文化施設 | | |



5 歴史、文化、自然の活用方法

6 経済の活性化に向けた取組

小金井の魅力・自然

- 小金井は自然が魅力！
- 野川と水とはけの森
- PRしていきたい
- 水の大切さを知る必要
- 井戸の井

道路整備は見直したい

- 計画道路の見直しはけの保全
- 交流の場、はけの森保全
- 多様な動植物の宝庫であり、道路建設で生態系が大きな影響大
- 都市計画道路の見直し(廃止)をしてほしい
- 都市計画道路見直し(中止)路3.4.11建設中止
- ↑緑化中止のシンボル、計画道路やめて！！
- 大型道路を計画されているが、大型道路ができれば、車の量が増え、安心して歩いて暮らせる町ではなくなる
- 小金井を通過するだけ
- 通り抜けする抜け道になってほしくない！
- 3.4.11周辺の環境調査を実施中 →11月に結果
- 道路をつくる目的が疑問、つくらなくてもいいのではないかと
- 誰のための道路なのか地元としては怖い
- 時代に合っていないのではないかと

しっかり伝えていく

- 何もしないと、みどりが無くなる！
- 小金井=自然、20年後の次世代に残す →子ども達への伝言
- 宅地が増え自然への関心が失せている →看板・イベントで広告
- 市外の高校へ行った子どもは市の自然の豊かさを再確認する！

農地・緑の保全！

- 農地や緑地の保全 →やすらぎ
- 宅地化による緑の減少を防ぐための制度(優遇措置)
- 栗林、農地がなくなっている →地主と市役所の情報共有
- 農地を知ってもらうために農家の協力がある

緑にもどす！

- 使い終わった土地は自然に還せないのか？

武蔵野公園の活用

- 武蔵野公園の活用
- 調整池
- はけ、野川に沿った横の環境を活かしてほしい
- 市外にも連携できないか
- 武蔵野公園野川を使って楽しい保全イベント
- 自然のあそびひろめていく
- 空地・空家も活用する！
- 緑地・空家空地の植栽を遊びに活用する
- 公園ごとのイベントを一覧できるものを整備してほしい
- 公式Webサイトくらい？
- 公園の利用者の動線を把握して経済活性の基点にできないか(情報の把握)
- 自然の保全だけでなく、活用も一緒に考える必要がある
- 癒し・森林浴・パワースポットそれに見合った環境整備

まずは調査が必要

- 野川地域の住人の方々はどこを中心に経済活動をしている？情報の把握
- 野川以南は活用できるものがない？情報の把握

商店街の取組

- 個人商店の広告 ⇒ ・ポスター、ちらし・イベント
- 4~5月 シダレザクラを見る 商店街・商店会イベント

強みを活かす

- 小金井のウリになる産業を育てる！
- 「これなら小金井は勝てる！」という、周辺自治体より個性ある産業を育て、強みを作る

連携が重要

- 個別宅地が多くなってきている(高齢化)ため、隣接市も含めた生活サービスの提供の最適化が必要
- 府中・武蔵境 国分寺との連携(移動等 公共サービス)
- 連携が重要

事業をつくる

- 市民からアイデアを募集するコンペを開き、実効性の高いものは市が事業化(実現)する

その他

- ココバス運行時間の改善をやめてほしい
- 今のままの環境が保全に最適
- 昔に比べて環境(生活利便性)が上がっている

自然を活かす！！

まちづくり、エネルギー

- 自然を活かし活性化！！
- 自然を活かした町づくりで、小金井市への移住をうながす →地域の活性化につなげる
- 多摩科技の高校生が市内の環境を生かした研究をしている →小・中にアピールしてもらえないか
- 再生エネルギー 見えるものを街中に作って意識向上 →自然を守る

